



4年 秋葉清高くん

※一番大変だったのは、ぬった後ティッシュでたたいて絵をぼかした事です。

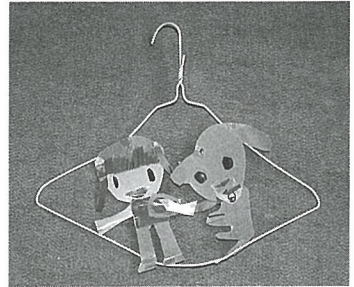


『世界にあるたった1つの花』

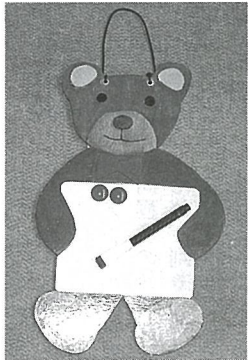


1年 齋藤裕香さん

※犬の口のくさりをつくるのがむずかしかったです。



『つるすかざり』



『ホワイトボード』



5年 布施友梨さん

※くまがホワイトボードを持つている感じを出すのがむずかしかったです。



『おしゃれなにんぎょう』



2年 宇井千智さん

※毛糸でかみの毛をつけたり顔をとりつけるのがむずかしかったです。

あつまれ みんなの力作



6年 布施郁恵さん

※たこの頭に、ひもをつけて風にあたっても飛ぶようにしました。



『たこ』



3年 伊藤千明さん

※クロッカスのさいている様子がよくわかるようにぬれました。



『クロッカスと友だち』



瞬けば睫毛の春の雪

山崎 てい (二又)

春の淡雪の命の果てを叙情豊かに詠んだ佳品。雪に佇む佳人をも連想させる。

夜は星の雫に濡れて木々芽ぶく

鈴木 都根 (橋場)

春の星は夜気に潤み神秘めいた情緒を漂わす。そんな夜の靈気が木々を芽吹かせる。

ひた走る若きら堤下萌ゆる

越川せつ子 (篠本)

若者たちの駆ける堤防は、一面浅緑りの若芽が萌え出て春への序曲を奏でている。

春の雪厨辺までも明るくす

鈴木とし子 (宝米)

春の夢生涯言えぬ事を言う

川島 重一 (尾垂)

よくしゃべる友の口元冬苺

伊藤 幸枝 (尾垂)

風連れて山舞い下りる春の雪

川島 智水 (二又)

短評 椎名しげる

評者吟 黙深く風ぐ犬吠の春の潮